

# ベトナム・ASEAN・ バランスファンド

## 愛称:V-Plus

### 第13期運用報告書（全体版） （決算日 2020年8月28日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2007年8月28日から2022年8月29日まで	
運用方針	インドシナ地域株式マザーファンドおよびASEAN地域債券マザーファンドに投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 各マザーファンドの運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	インドシナ地域株式マザーファンドおよびASEAN地域債券マザーファンドを主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することがあります。
	インドシナ地域株式マザーファンド	主としてベトナムの証券取引所に上場・登録等されている銘柄に投資します。ただし、ベトナム関連企業であれば、他の株式市場に上場している銘柄にも投資を行います。また、インドシナ地域の株式に連動する証書、債券等にも投資を行います。将来的にはカンボジア、ラオス、ミャンマーの株式に投資を行う可能性があります。
	ASEAN地域債券マザーファンド	主としてASEAN地域（東南アジア諸国連合の加盟国）の各国が発行する現地通貨建および米ドル、ユーロなど外貨建の国債、地方債、国営企業債、社債等に投資します。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の70%未満とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	インドシナ地域株式マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	ASEAN地域債券マザーファンド	株式（新株引受権証券、新株予約権証券および新株引受権付社債券を含みます。）への投資は信託財産の純資産総額の10%未満とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

#### お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。  
さて、「ベトナム・ASEAN・バランスファンド」は、2020年8月28日に第13期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

## 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率					
	円	円	%	%	%	%	%	百万円
9期(2016年8月29日)	10,390	100	0.2	53.4	—	35.2	—	1,705
10期(2017年8月28日)	10,957	650	11.7	48.9	—	34.5	—	1,794
11期(2018年8月28日)	11,487	550	9.9	49.3	—	34.6	—	2,076
12期(2019年8月28日)	10,889	350	△2.2	50.0	—	34.1	—	1,804
13期(2020年8月28日)	10,361	100	△3.9	52.1	—	36.0	—	1,696

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式組入比率には、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

### 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率
期首(前期末) 2019年8月28日	10,889	—	50.0	—	34.1	—
8月末	10,931	0.4	49.2	—	33.8	—
9月末	11,296	3.7	50.6	—	32.5	—
10月末	11,362	4.3	50.7	—	34.6	—
11月末	11,110	2.0	47.4	—	34.6	—
12月末	11,110	2.0	48.7	—	34.8	—
2020年1月末	11,000	1.0	47.5	—	33.7	—
2月末	10,558	△3.0	43.7	—	36.8	—
3月末	8,842	△18.8	37.2	—	39.9	—
4月末	9,567	△12.1	45.3	—	37.5	—
5月末	10,166	△6.6	46.9	—	37.7	—
6月末	10,092	△7.3	48.6	—	40.0	—
7月末	9,772	△10.3	48.7	—	38.1	—
期末 2020年8月28日	10,461	△3.9	52.1	—	36.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

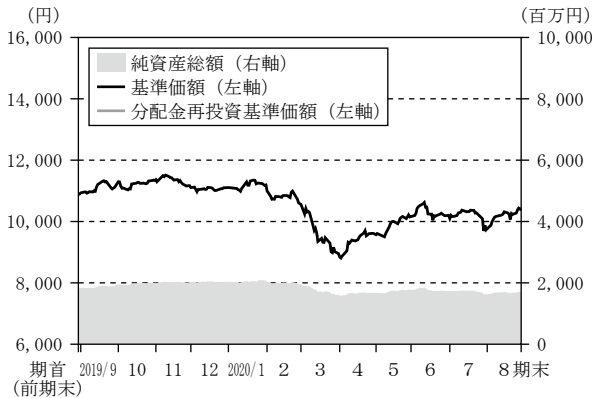
(注) 株式組入比率には、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



第13期首：10,889円

第13期末：10,361円（既払分配金100円）

騰落率：△3.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2019年8月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

「インドシナ地域株式マザーファンド」および「ASEAN地域債券マザーファンド」を通じて、ベトナムの株式やASEAN各国の債券に投資しており、ベトナム株式が下落したことが基準価額（分配金再投資ベース）下落の主な要因となりました。

### ■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
インドシナ地域株式マザーファンド	△8.7%
ASEAN地域債券マザーファンド	7.4

### ■ 投資環境

#### 【インドシナ地域株式市場】

当期のベトナム株式市場は下落しました。2020年1月の旧正月明け、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大の影響が懸念される旅行や貿易に関する銘柄を中心に株価が下落し、その後は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大するなか、感染拡大がベトナム経済に及ぼす悪影響への懸念が強まったことで株価は大幅に下落しました。原油価格の下落も関連銘柄の売り要因となりました。4月には、ベトナム政府による厳格な感染予防措置が奏功し新規感染者数の大幅な減少が続いたことから、段階的に経済活動が再開されたことを受けて株価は上昇に転じ、国内経済の早期正常化や政府による景気刺激策への期待が強まるなか、EU・ベトナム自由貿易協定（EVFTA）の批准議決案がベトナム国会で満場一致で可決されたことなども好材料となって、6月上旬にかけて株価は大幅上昇しました。その後は、米国や中国の良好な経済指標や海外株式市場の堅調さが株価の押し上げ要因となった一方、各国で新型コロナウイルス感染第2波への懸念が広がるなかベトナムでも約3ヵ月ぶりに新規感染者が確認されたことが投資家心理を悪化させ、株価は上下動する展開となりました。

#### 【ASEAN地域債券市場】

当期のASEAN地域債券市場は上昇しました。期初から2020年1月にかけては、米中通商協議の進展期待やASEAN各国の落ち着いたインフレ動向などを背景に、堅調に推移しました。2020年

2月から3月にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が強まり、世界的に株式市場が暴落するなど金融市場が大きく混乱するなかで、投資家の運用資産現金化の動きが加速したことから、ASEAN地域債券市場は大幅に下落しました。その後、3月下旬から4月にかけては、経済活動再開や景気刺激策への期待から投資家心理が改善し反転上昇する動きとなり、期末にかけては、ASEAN各国の金融緩和継続に対する期待感や相対的に高い利回りを求める動きなどから、各国まちまちながら堅調に推移しました。

### 【為替動向】

当期末のベトナムドンは、対円で前期末比ほぼ変わらずとなりました。

また、当期のASEAN各国通貨は、対前期末比で米ドルが円に対してほぼ横ばいとなる中、タイバーツとインドネシアルピアを除いて、対円で上昇しました。期初から2020年1月にかけては各国通貨とも対円で堅調に推移しましたが、2月から3月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大懸念や原油価格急落などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、各国通貨とも対円で下落しました。4月以降は経済活動再開や景気刺激策への期待から投資家心理が改善し、持ち直しの動きとなりました。フィリピンペソについては、経常収支の改善などを背景に相対的に高い上昇率となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 【当ファンド】

期を通じて、「インドシナ地域株式マザーファンド」に50～58%程度、「ASEAN地域債券マザーファンド」に36～45%程度投資を行いました。

### 【インドシナ地域株式マザーファンド】

銘柄選択にあたっては、ボトムアップアプローチでの徹底したファンダメンタル分析を用い、中長期的な観点から今後高い成長が期待でき、相対的に割安な銘柄に投資を行いました。ベトナム外商銀行（商業銀行）、ベトナム乳業（食品・乳製品メーカー）、フーニユアンジュエリー（宝飾品メーカー）等の買増しを行った一方、ペトロベトナム・テクニカル・サービス（石油会社向けサービス会社）、ペトロベトナムガス（石油・ガスの輸送・販売会社）、FPTデジタルリテール（通信機器販売会社）等の売却を行いました。

（注）文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

### 【ASEAN地域債券マザーファンド】

主としてASEAN地域の各国が発行する債券を運用対象としました。債券組入比率は、82～96%程度の水準を維持しました。国別では、期初に低めの組入比率としていたフィリピンについて、金融緩和の余地があることや、堅調な海外からの送金がペソを支えると見込まれることから、期中に組入比率を上げました。マレーシアについては、財政赤字拡大の可能性や原油価格下落による経済への悪影響を考慮し、期中に組入比率を引下げました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、100円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■ 今後の運用方針

### 【当ファンド】

「インドシナ地域株式マザーファンド」60%程度、「ASEAN地域債券マザーファンド」40%程度を基本構成比とし、マザーファンドを高位に組入れる運用を行います。

### 【インドシナ地域株式マザーファンド】

新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす悪影響が金融市場の懸念材料となっていますが、ベトナム政府が厳格な対策を継続していることなどから同国の株式市場は落ち着きをみせています。また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景にサプライチェーンの多様化の重要性が意識されるなか、ベトナムは、中国に代わる最も魅力的な製造拠点としての成長を継続することが期待されます。各国における感染防止の取り組みによって感染拡大に終息の見通しが立つことで、ベトナム経済についても、輸出関連産業等に向けた海外からのFDI（海外直接投資）を牽引役とした成長を回復するとみています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を長期的に受けるセクターについては慎重な見通しとする一方、消費の伸びの恩恵を受ける食品・飲料、小売、不動産に関連する銘柄を選好します。また、工業生産の拡大の恩恵を受ける工業団地の運営や発電に関連する銘柄に注目しています。

### 【ASEAN地域債券マザーファンド】

主としてASEAN地域各国が発行する債券を運用対象とします。今後も主要中央銀行による流動性供給は続くと考えられ、市場のリスクセンチメント回復に伴い、比較的利回りの高い債券への投資が選好されるとみています。こうした環境下、ASEAN地域債券については、中央銀行の国債買入れ拡充により国債需給への懸念が和らぐとみられるインドネシアと、中央銀行の金融緩和スタンスが債券サポート要因になるとみられるマレーシアについて、相対的に強気にみています。通貨については、シンガポールドルについて、需給ギャップが拡大する中でも金融政策据え置きの可能性があるとみており、当面堅調に推移すると見込んでいます。

「インドシナ地域株式マザーファンド」および「ASEAN地域債券マザーファンド」の運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

1 万口当たりの費用明細 (2019年 8 月29日から2020年 8 月28日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2019/8/29～2020/8/28		
	金額	比率	
平均基準価額	10,483円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 ( 投信会社) ( 販売会社)  ( 受託会社)	208円 ( 123) ( 75)  ( 9)	1.980% (1.177) (0.715)  (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株式)	4 ( 4)	0.041 (0.041)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株式)	0 ( 0)	0.005 (0.005)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保管費用)  ( 監査費用) ( その他 1) ( その他 2)	71 ( 52)  ( 2) ( 0) ( 17)	0.682 (0.499)  (0.018) (0.001) (0.165)	(d) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他 1 は、金融商品取引を行うための識別番号に係る費用 その他 2 は、インドネシア国債のキャピタルゲインに係る税金および金銭信託に係る手数料
合計	283	2.708	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

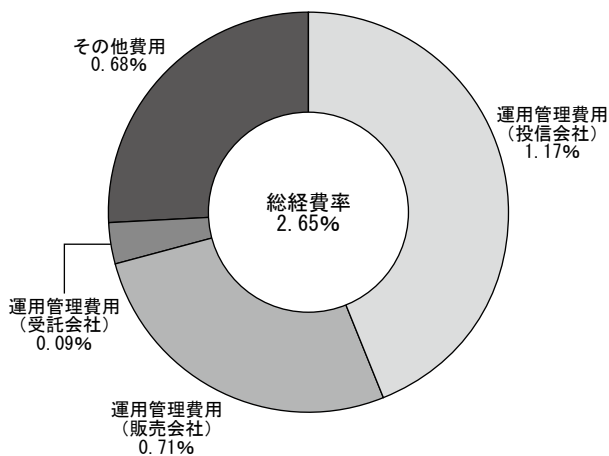
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.65%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
インドシナ地域株式マザーファンド	84,874	154,600	69,012	107,000
ASEAN地域債券マザーファンド	56,583	73,800	104,743	137,000

(注) 単位未満は切捨て。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

項 目	当 期	
	ベトナム・ASEAN・ バランスファンド	インドシナ地域株式 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	—	368,752千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—	904,598千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	—	0.40

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

当期中の利害関係人との取引状況

<インドシナ地域株式マザーファンド>

該当事項はありません。

<ASEAN地域債券マザーファンド>

区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
為替直物取引	百万円 1,225	百万円 333	% 27.2	百万円 1,287	百万円 333	% 25.9

平均保有割合 100.0%

(注) 平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、米国三井住友信託銀行です。



組入資産の明細 (2020年8月28日現在)

親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
インドシナ地域株式マザーファンド	577,536	593,398	968,664
A S E A N地域債券マザーファンド	533,091	484,932	648,014

(注) インドシナ地域株式マザーファンド全体の受益権口数は655,595千口です。

A S E A N地域債券マザーファンド全体の受益権口数は484,932千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2020年8月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インドシナ地域株式マザーファンド	968,664	55.7
A S E A N地域債券マザーファンド	648,014	37.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	121,847	7.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,738,525	100.0

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカ・ドル=106.66円、1 香港・ドル=13.76円、1 シンガポール・ドル=78.08円、1 マレーシア・リンギット=25.57円、  
1 タイ・バーツ=3.41円、1 フィリピン・ペソ=2.19円、1 インドネシア・ルピア=0.0073円、1 ベトナム・ドン=0.0046円

(注) インドシナ地域株式マザーファンドの当期末における外貨建純資産 (1,044,993千円) の投資信託財産総額 (1,070,169千円) に対する比率は97.6%です。

A S E A N地域債券マザーファンドの当期末における外貨建純資産 (633,357千円) の投資信託財産総額 (691,923千円) に対する比率は91.5%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,738,525,709円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	121,846,921
インドシナ地域株式マザーファンド(評価額)	968,664,015
ASEAN地域債券マザーファンド(評価額)	648,014,773
(B) 負 債	42,351,707
未 払 収 益 分 配 金	16,370,961
未 払 解 約 金	8,877,731
未 払 信 託 報 酬	16,952,175
未 払 利 息	215
そ の 他 未 払 費 用	150,625
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,696,174,002
元 本	1,637,096,165
次 期 繰 越 損 益 金	59,077,837
(D) 受 益 権 総 口 数	1,637,096,165口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,361円

- (注) 期首元本額 1,657,039,915円  
 期中追加設定元本額 414,117,761円  
 期中一部解約元本額 434,061,511円  
 (注) 1口当たり純資産額は1.0361円です。

### 損益の状況

当期 自2019年8月29日 至2020年8月28日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 78,554円
受 取 利 息	428
支 払 利 息	△ 78,982
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 36,667,048
売 買 益	71,809,670
売 買 損	△108,476,718
(C) 信 託 報 酬 等	△ 37,024,362
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 73,769,964
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 36,333,926
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	185,552,688
(配 当 等 相 当 額)	( 121,728,271)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 63,824,417)
(G) 合 計 (D + E + F)	75,448,798
(H) 収 益 分 配 金	△ 16,370,961
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	59,077,837
追 加 信 託 差 損 益 金	170,964,394
(配 当 等 相 当 額)	( 107,927,558)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 63,036,836)
繰 越 損 益 金	△111,886,557

- (注) 損益の状況の中で  
 (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
 (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。  
 (注) 当期における、親投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用。  
 支払金額 6,716,832円 (インドシナ地域株式マザーファンド)  
 4,700,597円 (ASEAN地域債券マザーファンド)

### 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,782,667円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円) および収益調整金 (122,515,852円) より、分配対象収益は124,298,519円 (1万口当たり759円) であり、うち16,370,961円 (1万口当たり100円) を分配金額としております。

## 分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2019年8月29日 ～2020年8月28日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	----- 0.956
当期の収益	10
当期の収益以外	89
翌期繰越分配対象額	659

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

### 《お知らせ》

2020年5月28日適用で、ファンドの購入・換金の申込不可日の変更を行う旨の約款変更を行いました。

## インドシナ地域株式マザーファンド

運用報告書（全体版） 第13期（決算日 2020年8月28日）  
（計算期間 2019年8月29日から2020年8月28日まで）

「インドシナ地域株式マザーファンド」は、2020年8月28日に第13期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

### ◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限とします。
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。 運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
主要運用対象	主としてベトナムの証券取引所に上場・登録等されている銘柄に投資します。ただし、ベトナム関連企業であれば、他の株式市場に上場している銘柄にも投資を行います。また、インドシナ地域の株式に連動する証書、債券等にも投資を行います。将来的にはカンボジア、ラオス、ミャンマーの株式に投資を行う可能性があります。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 円	期 騰 落 率	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額 百万円
		%	%	%	
9期（2016年8月29日）	12,848	6.1	89.7	—	1,014
10期（2017年8月28日）	15,361	19.6	87.4	—	1,005
11期（2018年8月28日）	18,198	18.5	87.3	—	1,173
12期（2019年8月28日）	17,872	△ 1.8	87.3	—	1,032
13期（2020年8月28日）	16,324	△ 8.7	91.3	—	1,070

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 株式組入比率には、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
期首（前期末） 2019年8月28日	円 17,872	% —	% 87.3	% —
8月末	17,916	0.2	87.3	—
9月末	18,790	5.1	87.1	—
10月末	18,757	5.0	88.2	—
11月末	17,985	0.6	84.0	—
12月末	17,886	0.1	85.4	—
2020年1月末	17,606	△ 1.5	85.1	—
2月末	16,479	△ 7.8	79.8	—
3月末	12,350	△30.9	74.6	—
4月末	14,256	△20.2	85.8	—
5月末	15,720	△12.0	85.4	—
6月末	15,278	△14.5	88.2	—
7月末	14,650	△18.0	89.0	—
期 末 2020年8月28日	16,324	△ 8.7	91.3	—

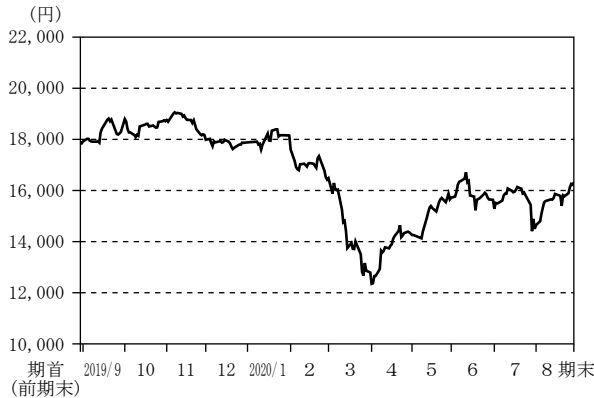
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## ■ 基準価額の推移



## ■ 基準価額の主な変動要因

主にベトナムに上場している株式に投資しました。ベトナム株式が下落したことが基準価額下落の主な要因となりました。

## ■ 投資環境

### 【インドシナ地域株式市場】

当期のベトナム株式市場は下落しました。2020年1月の旧正月明け、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大の影響が懸念される旅行や貿易に関する銘柄を中心に株価が下落し、その後は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大するなか、感染拡大がベトナム経済に及ぼす悪影響への懸念が強まったことで株価は大幅に下落しました。原油価格の下落も関連銘柄の売り要因となりました。4月には、ベトナム政府による厳格な感染予防措置が奏功し新規感染者数の大幅な減少が続いたことから、段階的に経済活動が再開されたことを受けて株価は上昇に転じ、国内経済の早期正常化や政府による景気刺激策への期待が強まるなか、EU・ベトナム自由貿易協定(EVFTA)の批准議決案がベトナム国会で満場一致で可決されたことなども好材料となって、6月上旬にかけて株価は大幅上昇しました。その後は、米国や中国の良好な経済指標や海外株式市場の堅調さが株価の押し上げ要因となった一方、各国で新型コロナウイルス感染第2波への懸念が広がるなかベトナムでも約3ヵ月ぶりに新規感染者が確認されたことが投資家心理を悪化させ、株価は上下動する展開となりました。

### 【為替動向】

当期末のベトナムドン、対円で前期末比ほぼ変わらずとなりました。また、米ドルは対円で+0.9%と若干の米ドル高円安となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

銘柄選択にあたっては、ボトムアップアプローチでの徹底したファンダメンタル分析を用い、中長期的な観点から今後高い成長が期待でき、相対的に割安な銘柄に投資を行いました。ベトナム外商銀行（商業銀行）、ベトナム乳業（食品・乳製品メーカー）、フーニュアンジュエリー（宝飾品メーカー）等の買増しを行った一方、ペトロベトナム・テクニカル・サービス（石油会社向けサービス会社）、ペトロベトナムガス（石油・ガスの輸送・販売会社）、F P T デジタルリテール（通信機器販売会社）等の売却を行いました。

（注）文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 今後の運用方針

新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす悪影響が金融市場の懸念材料となっていますが、ベトナム政府が厳格な対策を継続していることなどから同国の株式市場は落ち着きをみせています。また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景にサプライチェーンの多様化の重要性が意識されるなか、ベトナムは、中国に代わる最も魅力的な製造拠点としての成長を継続することが期待されます。各国における感染防止の取り組みによって感染拡大に終息の見通しが立つことで、ベトナム経済についても、輸出関連産業等に向けた海外からのF D I（海外直接投資）を牽引役とした成長を回復するとみています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を長期的に受けるセクターについては慎重な見通しとする一方、消費の伸びの恩恵を受ける食品・飲料、小売、不動産に関連する銘柄を選好します。また、工業生産の拡大の恩恵を受ける工業団地の運営や発電に関連する銘柄に注目しています。

運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

1万口当たりの費用明細 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2019/8/29~2020/8/28	
	金額	比率
平均基準価額	16,472円	
(a) 売買委託手数料 (株式)	12円 ( 12)	0.074% (0.074)
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 ( 1)	0.008 (0.008)
(c) その他費用 (保管費用)	128 ( 128)	0.779 (0.778)
(その他1)	( 0)	(0.001)
(その他2)	( 0)	(0.000)
合計	141	0.861

(注) 費用項目につきましては5ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。  
ただし、当マザーファンドのその他2は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

外国株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ベ ト ナ ム	百株	千ベトナム・ドン	百株	千ベトナム・ドン
		12,765.9 (3,612.05)	60,443,156 (11,286,810)	5,531.1 (1,124.1)	18,736,073 (11,286,810)

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	368,752千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	904,598千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.40

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。



当期中の主要な売買銘柄 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

外国株式 (上位10銘柄)

買				売			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE CORP	40.28	43,334	1,075	MASAN GROUP CORP	80.82	22,303	275
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	82.41	37,947	460	SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE CORP	23.26	18,755	806
HOA PHAT GROUP JSC	251.97	28,647	113	PETROVIETNAM GAS JOINT STOCK	38.47	15,364	399
PHU NHUAN JEWELRY JSC	84.03	28,588	340	PETROVIETNAM TECHNICAL SERVICE	316.7	13,523	42
VINCOM RETAIL JSC	219.69	27,799	126	FPT DIGITAL RETAIL JSC	82.91	12,002	144
MASAN GROUP CORP	85.39	27,557	322	VINGROUP JSC	10.95	5,409	494
VINHOMES JSC	71.69	26,735	372				
JSC BANK FOR FOREIGN TRADE	57.56	22,261	386				
VIETNAM TECHNOLOGICAL & COMMERCIAL JOINT STOCK BANK	157.37	17,564	111				
VINH HOAN CORP	85.56	9,378	109				

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) 株式分割、合併等による増減分の調整は行っていません。

利害関係人との取引状況等 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年8月28日現在)

下記は、インドシナ地域株式マザーファンド全体 (655,595千口) の内容です。

外国株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		評 価 額
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千バトナム・ドン	千円	
(ベトナム)						
HO CHI MINH CITY INFRASTRUCTURE INVESTMENT JSC		2,703.6	2,703.6	5,136,840	23,629	運輸
KIDO GROUP CORP		0.02	0.02	72	0.331	食品・飲料・タバコ
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC		564.3	1,388.4	16,272,048	74,851	食品・飲料・タバコ
PETROVIETNAM DRILLING AND WELL SERVICES FPT CORP		0.09	0.09	102	0.469	エネルギー
SAIGON SECURITIES INC		2,687.31	3,090.4	15,405,643	70,865	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PETROVIETNAM TRANSPORTATION		859.99	997.58	1,506,345	6,929	各種金融
VINGROUP JSC		2,528.1	2,528.1	2,831,472	13,024	エネルギー
HATIEN 1 CEMENT JSC		669.39	559.89	5,094,999	23,436	不動産
HOA PHAT GROUP JSC		0.02	0.02	31	0.145	素材
KINH BAC CITY DEVELOPMENT SHARE HOLDING CORP		1,771.21	5,149.09	12,512,288	57,555	素材
VINH HOAN CORP		5,806.3	7,124.7	9,938,956	45,719	不動産
HOA SEN GROUP		563.9	1,983.4	7,784,845	35,810	食品・飲料・タバコ
HAGL JSC		0.06	0.06	69	0.321	素材
PETROVIETNAM NHON TRACH 2 POWER		0.04	0.04	17	0.079	各種金融
KHANG DIEN HOUSE TRADING AND INVESTMENT		1,584.57	1,584.57	3,620,742	16,655	公益事業
TMT AUTOMOBILE JSC		4,214.44	4,425.16	10,885,893	50,074	不動産
MASAN GROUP CORP		0.07	0.07	37	0.172	自動車・自動車部品
COTECCONS CONSTRUCTION JSC		831.95	877.65	4,704,204	21,639	食品・飲料・タバコ
JSC BANK FOR FOREIGN TRADE		0.03	0.03	238	1	資本財
PHU NHUAN JEWELRY JSC		1,538.62	2,114.22	17,653,737	81,207	銀行
PETROVIETNAM GAS JOINT STOCK		400	1,240.3	7,292,964	33,547	耐久消費財・アパレル
NAM LONG INVESTMENT CORP		384.7	—	—	—	公益事業
SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE CORP		3,821.05	4,135.52	11,414,035	52,504	不動産
FPT DIGITAL RETAIL JSC		556	726.2	13,289,460	61,131	食品・飲料・タバコ
VIETNAM TECHNOLOGICAL & COMMERCIAL JOINT STOCK BANK		829.11	0.01	23	0.108	小売
PETROVIETNAM POWER CORP		450	2,023.7	4,280,125	19,688	銀行
VINHOMES JSC		3,912.6	3,912.6	3,932,163	18,087	公益事業
MOBILE WORLD INVESTMENT CORP		1,013.17	1,730.07	13,581,049	62,472	不動産
NOIBAI CARGO TERMINAL SERVICE JSC		1,769.72	1,769.72	15,732,810	72,370	小売
CENTURY SYNTHETIC FIBER CORP		0.01	0.01	61	0.284	運輸
VIETNAM NATIONAL PETROLEUM GROUP		0.07	0.07	105	0.483	耐久消費財・アパレル
POWER CONSTRUCTION JSC NO. 1		1,772.8	1,860.8	9,825,024	45,195	エネルギー
VINCOM RETAIL JSC		2,754.8	2,754.8	5,371,860	24,710	資本財
PETROVIETNAM TECHNICAL SERVICE		3,086.25	5,283.15	14,370,168	66,102	不動産
		3,167.22	0.22	281	1	エネルギー
ファンド	株数・金額	50,241.51	59,964.26	212,438,717	977,218	
合計	銘柄数<比率>	35銘柄	34銘柄	—	<91.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

## 投資信託財産の構成 (2020年8月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	977,218	91.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	92,951	8.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,070,169	100.0

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカ・ドル=106.66円、1 香港・ドル=13.76円、1 ベトナム・ドン=0.0046円

(注) 当期末における外貨建純資産 (1,044,993千円) の投資信託財産総額 (1,070,169千円) に対する比率は97.6%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,070,169,746円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	90,746,144
株 式(評価額)	977,218,098
未 収 配 当 金	2,205,504
(B) 負 債	44
未 払 利 息	44
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,070,169,702
元 本	655,595,152
次 期 繰 越 損 益 金	414,574,550
(D) 受 益 権 総 口 数	655,595,152口
1 万口当たり基準価額(C/D)	16,324円

(注) 期首元本額 577,536,430円

期中追加設定元本額 147,071,273円

期中一部解約元本額 69,012,551円

(注) 1口当たり純資産額は1.6324円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳  
 ベトナム・ASEAN・バランスファンド 593,398,686円  
 T&D ベトナム株式ファンド 62,196,466円

### 損益の状況

当期 自2019年8月29日 至2020年8月28日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	18,100,609円
受 取 配 当 金	18,094,233
受 取 利 息	36,340
支 払 利 息	△ 29,964
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△119,529,458
売 買 益	39,878,947
売 買 損	△159,408,405
(C) そ の 他 費 用	△ 8,313,961
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△109,742,810
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	454,616,082
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	107,688,727
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 37,987,449
(H) 合 計(D+E+F+G)	414,574,550
次 期 繰 越 損 益 金(H)	414,574,550

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

## A S E A N地域債券マザーファンド

運用報告書（全体版） 第13期（決算日 2020年8月28日）  
（計算期間 2019年8月29日から2020年8月28日まで）

「A S E A N地域債券マザーファンド」は、2020年8月28日に第13期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

### ◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限とします。
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。 運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
主要運用対象	主としてA S E A N地域（東南アジア諸国連合の加盟国）の各国が発行する現地通貨建および米ドル、ユーロなど外貨建の国債、地方債、国営企業債、社債等に投資します。
組入制限	株式（新株引受権証券、新株予約権証券および新株引受権付社債券を含みます。）への投資は信託財産の純資産総額の10%未満とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	円	騰 落 率			
9期（2016年8月29日）	11,256	△4.6%	92.9%	—%	百万円 646
10期（2017年8月28日）	11,963	6.3%	90.7%	—%	682
11期（2018年8月28日）	12,247	2.4%	91.9%	—%	781
12期（2019年8月28日）	12,445	1.6%	92.8%	—%	663
13期（2020年8月28日）	13,363	7.4%	94.1%	—%	648

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

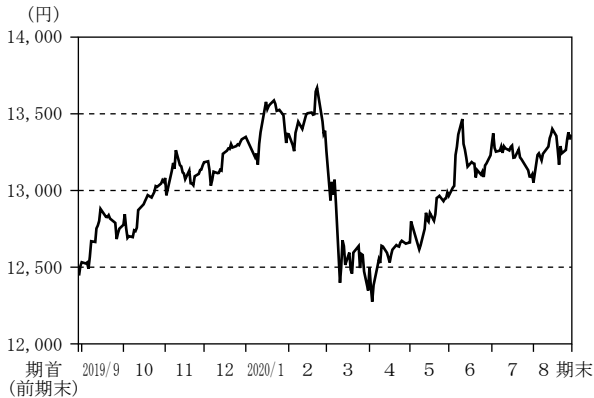
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
期首（前期末） 2019年8月28日	円 12,445	% —	% 92.8	% —
8月末	12,533	0.7	92.8	—
9月末	12,776	2.7	90.2	—
10月末	13,082	5.1	94.4	—
11月末	13,184	5.9	92.7	—
12月末	13,349	7.3	91.9	—
2020年1月末	13,366	7.4	89.3	—
2月末	13,258	6.5	93.6	—
3月末	12,500	0.4	90.1	—
4月末	12,661	1.7	90.9	—
5月末	12,966	4.2	94.5	—
6月末	13,303	6.9	94.6	—
7月末	13,052	4.9	92.8	—
期 末 2020年8月28日	13,363	7.4	94.1	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## ■ 基準価額の推移



## ■ 基準価額の主な変動要因

主としてASEAN地域各国が発行する債券を運用対象とした結果、ASEAN各国の債券が上昇したことに加え、ASEAN各国の通貨が各国まちまちながら全体では円に対して上昇したことから、基準価額は上昇しました。

## ■ 投資環境

### 【ASEAN地域債券市場】

当期のASEAN地域債券市場は上昇しました。期初から2020年1月にかけては、米中通商協議の進展期待やASEAN各国の落ち着いたインフレ動向などを背景に、堅調に推移しました。2020年2月から3月にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が強まり、世界的に株式市場が暴落するなど金融市場が大きく混乱するなかで、投資家の運用資産現金化の動きが加速したことから、ASEAN地域債券市場は大幅に下落しました。その後、3月下旬から4月にかけては、経済活動再開や景気刺激策への期待から投資家心理が改善し反転上昇する動きとなり、期末にかけては、ASEAN各国の金融緩和継続に対する期待感や相対的に高い利回りを求める動きなどから、各国まちまちながら堅調に推移しました。

### 【為替動向】

当期のASEAN各国通貨は、対前期末比で米ドルが円に対してほぼ横ばいとなる中、タイバーツとインドネシアルピアを除いて、対円で上昇しました。期初から2020年1月にかけては各国通貨とも対円で堅調に推移しましたが、2月から3月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大懸念や原油価格急落などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、各国通貨とも対円で下落

しました。4月以降は経済活動再開や景気刺激策への期待から投資家心理が改善し、持ち直しの動きとなりました。フィリピンペソについては、経常収支の改善などを背景に相対的に高い上昇率となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

主としてASEAN地域の各国が発行する債券を運用対象としました。債券組入比率は、82～96%程度の水準を維持しました。国別では、期初に低めの組入比率としていたフィリピンについて、金融緩和の余地があることや、堅調な海外からの送金がペソを下支えすると見込まれることから、期中に組入比率を上げました。マレーシアについては、財政赤字拡大の可能性や原油価格下落による経済への悪影響を考慮し、期中に組入比率を下げました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 今後の運用方針

主としてASEAN地域各国が発行する債券を運用対象とします。今後も主要中央銀行による流動性供給は続くとみられ、市場のリスクセンチメント回復に伴い、比較的利回りの高い債券への投資が選好されるとみています。こうした環境下、ASEAN地域債券については、中央銀行の国債買入れ拡充により国債需給への懸念が和らぐとみられるインドネシアと、中央銀行の金融緩和スタンスが債券サポート要因になるとみられるマレーシアについて、相対的に強気にみています。通貨については、シンガポールドルについて、需給ギャップが拡大する中でも金融政策据え置きの可能性があるとみており、当面堅調に推移すると見込んでいます。

運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

1 万口当たりの費用明細 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2019/8/29~2020/8/28	
	金額	比率
平均基準価額	13,002円	
その他費用	78円	0.602%
(保管費用)	(23)	(0.179)
(その他1)	(0)	(0.001)
(その他2)	(55)	(0.422)
合計	78	0.602

(注) 費用項目につきましては5ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

売買および取引の状況 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

外国公社債

			買付額	売付額
			千シンガポール・ドル	千シンガポール・ドル
外	シンガポール	国債証券	1,258	1,046
	マレーシア	国債証券	7,995	10,882
	タイ	国債証券	41,017	54,901
国	フィリピン	国債証券	77,614	24,439
	インドネシア	国債証券	47,462,932	53,325,700

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

当期中の主要な売買銘柄 (2019年8月29日から2020年8月28日まで)

外国公社債

買付		付	売付	
銘柄	金額		銘柄	金額
		千円		
PHILIPPINE GOV'T 4.625% 22/12/4 (フィリピン)	108,479		INDONESIA GOV'T 5.625% 23/5/15 (インドネシア)	88,361
THAILAND GOVT 1.45% 24/12/17 (タイ)	86,183		INDONESIA GOV'T 6.125% 28/5/15 (インドネシア)	85,995
INDONESIA GOV'T 6.5% 25/6/15 (インドネシア)	84,901		INDONESIA GOV'T 8.25% 21/7/15 (インドネシア)	81,322
INDONESIA GOV'T 6.125% 28/5/15 (インドネシア)	75,387		MALAYSIA GOVT 3.8% 23/8/17 (マレーシア)	78,202
INDONESIA GOV'T 8.25% 21/7/15 (インドネシア)	71,701		MALAYSIA GOVT 3.899% 27/11/16 (マレーシア)	64,411
MALAYSIA GOVT 3.899% 27/11/16 (マレーシア)	63,914		THAILAND GOVT 1.875% 22/6/17 (タイ)	52,376
MALAYSIA GOVT 3.478% 24/6/14 (マレーシア)	62,661		INDONESIA GOVT 3.955% 25/9/15 (マレーシア)	51,705
PHILIPPINE GOV'T 5.5% 23/3/8 (フィリピン)	57,781		THAILAND GOVT 3.625% 23/6/16 (タイ)	41,392
THAILAND GOVT 1.875% 22/6/17 (タイ)	54,343		SINGAPORE GOV'T 1.25% 21/10/1 (シンガポール)	39,588
SINGAPORE GOV'T 2% 24/2/1 (シンガポール)	47,620		PHILIPPINE GOV'T 3.5% 21/3/20 (フィリピン)	38,661

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。



**利害関係人との取引状況等**（2019年8月29日から2020年8月28日まで）

**当期中の利害関係人との取引状況**

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
為替直物取引	百万円 1,225	百万円 333	% 27.2	百万円 1,287	百万円 333	% 25.9

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、米国三井住友信託銀行です。

**組入資産の明細**（2020年8月28日現在）

下記は、ASEAN地域債券マザーファンド全体（484,932千口）の内容です。

**(1) 外国（外貨建）公社債<通貨別>**

区 分	当 期						末		
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
シンガポール	千シンガポール・ドル 1,100	千シンガポール・ドル 1,149	千円 89,747	% 13.8	% —	% —	% 13.8	% —	
マレーシア	千マレーシア・リングギット 4,400	千マレーシア・リングギット 4,644	118,750	18.3	—	2.1	16.2	—	
タイ	千タイ・バーツ 28,000	千タイ・バーツ 29,207	99,598	15.4	—	—	12.7	2.7	
フィリピン	千フィリピン・ペソ 80,790	千フィリピン・ペソ 86,452	189,331	29.2	—	—	29.2	—	
インドネシア	千インドネシア・ルピア 15,000,000	千インドネシア・ルピア 15,427,945	112,624	17.4	—	6.7	10.7	—	
合 計	—	—	610,052	94.1	—	8.8	82.6	2.7	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 外国（外貨建）公社債＜銘柄別＞

区 分	当		期				末	
	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
					外貨建金額	邦貨換算金額		
シンガポール	SINGAPORE GOV' T SINGAPORE GOV' T	国債証券	%	千シンガポール・ドル	千シンガポール・ドル	千円		
			1.75	500	517	40,379	2023/2/1	
			2.0	600	632	49,368	2024/2/1	
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄				89,747		
マレーシア	MALAYSIA GOVT MALAYSIA GOVT MALAYSIA GOVT	国債証券		千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット			
			3.757	1,500	1,575	40,288	2023/4/20	
			3.478	2,400	2,524	64,544	2024/6/14	
			3.955	500	544	13,918	2025/9/15	
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄				118,750		
タイ	THAILAND GOVT THAILAND GOVT THAILAND GOVT	国債証券		千タイ・バーツ	千タイ・バーツ			
			1.875	5,000	5,121	17,463	2022/6/17	
			3.625	8,000	8,676	29,587	2023/6/16	
			1.45	15,000	15,410	52,548	2024/12/17	
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄				99,598		
フィリピン	PHILIPPINE GOV' T PHILIPPINE GOV' T PHILIPPINE GOV' T	国債証券		千フィリピン・ペソ	千フィリピン・ペソ			
			4.625	44,000	46,407	101,633	2022/12/4	
			5.5	31,290	33,798	74,018	2023/3/8	
			5.75	5,500	6,246	13,679	2025/4/12	
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄				189,331		
インドネシア	INDONESIA GOV' T INDONESIA GOV' T INDONESIA GOV' T	国債証券		千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア			
			8.125	2,000,000	2,197,400	16,041	2024/5/15	
			6.5	7,000,000	7,296,450	53,264	2025/6/15	
			5.5	6,000,000	5,934,095	43,318	2026/4/15	
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄				112,624		
合 計	銘柄数 金 額	14銘柄				610,052		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 投資信託財産の構成 (2020年8月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	610,052	88.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	81,871	11.8
投 資 信 託 財 産 総 額	691,923	100.0

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカ・ドル=106.66円、1 シンガポール・ドル=78.08円、1 マレーシア・リンギット=25.57円、1 タイ・バーツ=3.41円、1 フィリピン・ペソ=2.19円、1 インドネシア・ルピア=0.0073円

(注) 当期末における外貨建純資産 (633,357千円) の投資信託財産総額 (691,923千円) に対する比率は91.5%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	691,923,289円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	76,766,220
国 債 証 券 (評価額)	610,052,406
未 収 利 息	4,218,157
前 払 費 用	886,506
(B) 負 債	43,922,901
未 払 金	43,922,875
未 払 利 息	26
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	648,000,388
元 本	484,932,106
次 期 繰 越 損 益 金	163,068,282
(D) 受 益 権 総 口 数	484,932,106口
1 万口当たり基準価額 (C/D)	13,363円

(注) 期首元本額 533,091,908円

期中追加設定元本額 56,583,324円

期中一部解約元本額 104,743,126円

(注) 1口当たり純資産額は1.3363円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳  
ベトナム・ASEAN・バランスファンド 484,932,106円

### 損益の状況

当期 自2019年8月29日 至2020年8月28日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	23,828,846円
受 取 利 息	23,841,762
支 払 利 息	△ 12,916
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	28,213,922
売 買 益	43,141,906
売 買 損	△ 14,927,984
(C) そ の 他 費 用	△ 4,254,990
(D) 当 期 利 益 (A+B+C)	47,787,778
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	130,320,702
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	17,216,676
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 32,256,874
(H) 合 計 (D+E+F+G)	163,068,282
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	163,068,282

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(G) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。